

国際森林年の成果とこれから



2011・国際森林年

公益社団法人 国土緑化推進機構

専務理事 梶谷 辰哉



国土緑化推進機構について

「国土緑化運動」の推進母体（1950年～）

全国植樹祭（1950年～）・全国育樹祭（1977年～）

「緑と水の森林ファンド」（1988年～）

「緑の募金」（1995年法制化）

公益社団法人として新たなスタート（2011年）

国連森林フォーラム (UNFF) 会合



日本政府主催のサイドイベント
における「緑の募金」プレゼン
テーション風景 (2月3日)



「美しい森林(もり)づくり」 企業・NPO等交流フォーラム



「国際森林年」と「国連生物多様性の10年」のキックオフを記念して、フォーラムの開催と協働宣言を締結（2月14日）



「緑の少年団」による国際交流の推進



国際森林年を記念してハバロフスクで緑の少年団国際交流を実施（7月31日～8月5日）

チョウセンゴヨウマツを植樹



国際森林年記念「友好の森づくり」



国際森林年を記念して、ベトナム、タイ、ラオス、カンボジアなどでボランティアによる「友好の森づくり」を推進

カンボジアにおける研修事業の実施風景

ベトナムでは歌手の雨谷麻世さんもマングローブ植林に参加



「緑の募金」東日本大震災復興事業の創設



間伐作業研修により被災した漁業者等の就労促進に寄与

4月に「緑の募金」東日本大震災復興事業を創設し、「緑の募金」を通じて被災地の復興を支援



東北地域産の間伐材で制作した「組手仕（くでじゅう）」寄贈し、避難者の生活を支援

歌のチカラで被災地の復興を応援



「緑の募金」東日本大震災復興事業応援ソング「今ある気持ち」のCDをリリースし、緑の募金活動を展開

上田正樹さんが宮城県石巻市立稲井小学校の子供たちと行った「今ある気持ち」の収録風景



エコプロダクツ2011



「森からはじまるエコライフ展」
(12月15日～17日、東京ビッグサイト東2ホール)

- ・展示(40団体)
- ・スタンプラリー(60企業・団体)
- ・トークショー

「森のチカラで日本を元気に」
(林野庁長官、草野満代さん、宮林茂幸氏)

企業の森づくりフェア
～生物多様性に貢献する森づくり・木づかい～

トークショー

「森と木を活かした日本の暮らし」
～東北復興グリーンウェイブ～
(A. ジョグラフィ氏、清水英二氏ほか)

Green Baseball Project 2011

調印式(日本野球機構、いわき市、国土緑推)

トークショー「森と野球をつなぐ」
～日本の森を守る、東北復興を支援する～
(山崎武司選手、林野庁森林整備部長)





「フォレスト・サポーターズ」運動の広がり

4つのアクションを宣言・登録する仕組み
(森にふれる、木をつかう、森を支える、森で暮らす)

一人ひとりの活動をつないで、森づくりを支える大きなチカラにすること

森づくりの循環を取り戻すこと



(注) 2009年12月発足、3万6千件(うち1千の企業・団体)の登録。

「フォレスト・サポーターズ」による 国際森林年活動宣言(370団体)

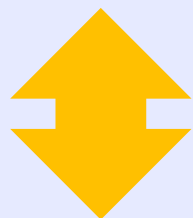
4つのアクション	活動内容	%
森にふれよう	森林環境教等	56
	身近な森林とのふれあい活動	49
木をつかおう	間伐材等の利用	56
	地域の森の恵みの利用	38
	木育の推進	33
森をささえよう	企業・団体の森づくり活動	44
	森林ボランティア活動	36
	地域や学校の森づくり	25
森と暮らそう	森に暮らす人の知恵や技術にふれる活動	35
国際森林年のPR	イベント等による	63
	WEBサイト・機関誌などによる	60

(注) 数字は活動宣言団体の主な活動の割合(%) (平成23年11月30日現在)。

ポスト国際森林年の取組について

持続的な社会の発展

地球温暖化防止と生物多様性保全



森づくりと木づかいの循環の回復

被災地の復興と日本の発展

パートナーシップの強化

グリーンウェイブ・
どんぐりプロジェクト

被災地の復興支援

フォレスト・
サポーターズ

